

【連載】

災害に さいがいにそなえる 備えろ



親子で学ぼう

～家庭でできる日頃からの備え～

第24回

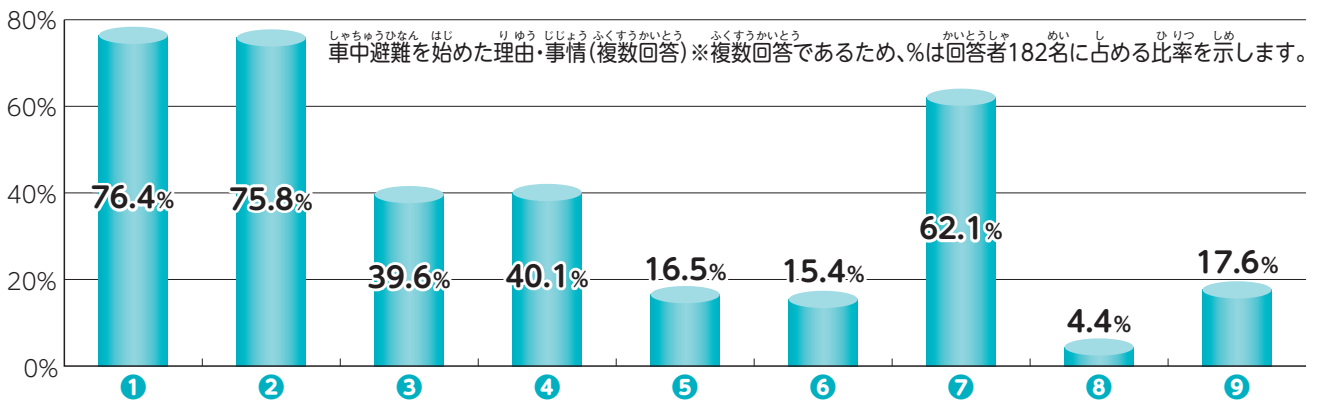
車中での避難について (その1)

平成28年4月に最大震度7の前震・本震を2回記録した熊本地震の被災地では、車の中で避難するかたが続出しました。なぜ、多くのかたが車中で避難をしたのか、また車中避難におけるリスクなどについて複数回にわたってお伝えします。

多くのかたが車中避難を始めた理由には…

被災者が車中での避難を選択した訳にはいくつかの理由がありました。実際に車中避難されたかたを対象に実施されたアンケート調査によると、最も大きな要因となったのが、「再び大きな地震が起きるのではないか」、「余震が頻繁に続いているから」など、屋内避難に恐怖や不安を感じた被災者がやむなく車を避難先を選んでいました。

次いで多かった理由には、避難所内での周りへの気疲れやプライバシーの問題で避難所より良いと思う理由や、地震で自宅が大きな損傷を受けたため住めないなどがあがっています。



- ① 再び大きな地震があるのではないかと不安なため (139名)
- ② 余震が続いていて、自宅で寝るのが不安なため (138名)
- ③ いざという時に逃げるために車が必要なため (72名)
- ④ 自宅に大きな損傷があり、住める状態ではないため (73名)
- ⑤ 自宅には目立った損傷はないが、家具などが片付いていないため (30名)
- ⑥ 水やガスなど、生活に必要なものが不便なため (28名)
- ⑦ 避難所での生活より車中避難の方がよいと思うため (113名)
- ⑧ 避難所が近くにないため (8名)
- ⑨ その他 (32名)



平成28年4月熊本地震車中避難者調査報告書
(ころをつなぐ「よか隊ネット」調査)

POINT

車中避難は避難所の避難に比べて、プライバシーは確保されますが、狭い車内ではゆっくり休むことができません。

また、避難者の人数把握が正確に出来ない場合もあり、これによって適切な支援物資や情報の提供が困難になる場合があります。

※次回は「車中での避難について(その2)」をお伝えします。

大人だけでなく、子どもたちにも災害への関心を持ってもらいたいと考え、連載「災害に備える」では、子ども向けに文章にふりがなを付ける工夫をしております。ぜひ、お子さんと一緒にお読みください。